

1. 基本情報

- (1) 国名：スーダン共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ハルツーム州，紅海州，北コルドファン州
- (3) 案件名：スーダンのきれいな街のための廃棄物管理機材改善計画（The Project for Improvement of Solid Waste Management Equipment for Clean Cities in Sudan）
- (4) 事業の要約：対象州内の主要都市において，廃棄物収集・運搬機材等の整備を行うことにより，都市域における廃棄物収集を中心とした廃棄物管理能力向上を図り，もって対象地域の衛生環境の改善に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

スーダンは、アラブとサブサハラ・アフリカの境界をなすとともに、情勢が不安定であり、干ばつや食糧危機が頻発するアフリカの角地域等と国境を接している。スーダン情勢が不安定化すれば、周辺地域や、我が国の通商・交易上重要なシーレーンの一部である紅海やソマリア沖にも影響が波及することが懸念されることから、同国の安定的な発展は、当該周辺地域全体の安定に資する重要な課題である。一方で、同国には紛争被災地域が多く、長年続いた内戦の影響もあり、基礎的な生活インフラの欠如、国内避難民の社会再統合支援等が課題となっている。同国がこれらの課題を克服し、社会・経済発展を実現することは、我が国と同国の間の経済関係の進展にも資するものであり、我が国の経済外交の観点からも重要である。本計画は、基礎生活分野に係る支援であり広報効果も高く、二国間関係の強化に資する重要な案件として位置づけられる。なお、本計画は、TICAD VI のフォローアップとして設立された「アフリカのきれいな街プラットフォーム」の目的である「アフリカ諸国におけるきれいな街と健康な暮らしの実現」と、SDGs のゴール 11 の達成に貢献するものである。

- (2) 当該国における廃棄物管理分野の開発の現状・課題及び本計画の位置付け

スーダンでは、人口増加率の都市部平均は 3%（世界銀行，2016 年）、特に最大都市のハルツーム州は 4% を超えており、都市人口の増加に伴い廃棄物発生量が増大している。資機材不足や行政官の管理・技術能力の低さ等により、廃棄物の不法投棄や不適切な焼却を招いており、環境影響や健康被害が懸念され、同国政府は、給水・衛生分野国家戦略等において廃棄物管理を都市域の優先課題と位置付けている。

我が国は、ハルツーム州で技術協力及び無償資金協力を実施し、その結果同州での廃棄物収集量は 3,200 トン／日（2012 年）から 4,565 トン／日（2017 年）に改善したが、現在同州では二次収集（中継基地～最終処分場）の能力増強が必要となっている。また、連邦環境・天然資源・都市開発省では、各州の廃棄物管理の状況把握のため全国調査を実施し、調査の結果を踏まえ優先的に機材整備を進める 5 州を選定し、その中でも、紅海州は他州に先駆け 2011 年に州清掃公社を設立し、また北コルドファン州は公社の設立準備を進めるなど、廃棄物管理の体制を整えつつある。一方、両

州ともごみ収集を行うために必要な収集車両の6～7割程度の機材しか保有しておらず、廃棄物収集は未徹底である。また収集されたごみも最終処分場に運搬される途中で、機材の老朽化と不適切な運用による飛散や不法投棄が見られ、ごみの散乱や悪臭、害虫の発生などの居住環境への悪影響が出ている。本計画は、ハルツーム州、紅海州、北コルドファン州の都市部の廃棄物運搬・処理能力の強化を図るものであり、同国の給水・衛生分野国家戦略が掲げる都市廃棄物管理の改善に資するものである。

3. 計画概要

(1) 計画概要

① 計画内容

- ア) 機材等の内容：運搬機材、収集機材、最終処分場運営機材、メンテナンス機材等（詳細は協力準備調査で確認。）
- イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネント：協力準備調査で確認。
- ウ) 調達・施工方法：協力準備調査で確認。

- ② 期待される開発効果：対象地域における衛生環境の改善が期待される。
- ③ 事業実施機関／実施体制：連邦環境・天然資源・都市開発省、対象地方州政府
- ④ 他機関との連携・役割分担：特になし。
- ⑤ 運営／維持管理体制：対象州の清掃公社（ハルツーム州及び紅海州では設立済み。北コルドファン州でも同じ体制を整備中。）

(2) その他特記事項

- ① 環境社会配慮のカテゴリ分類：C（「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため）
- ② ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）に該当するが、調査にてジェンダー主流化ニーズを確認する。
- ③ ハルツーム州で実施した技術協力や無償資金協力等での経験・教訓を基に、全国レベルでの廃棄物国家戦略策定や都市廃棄物管理能力向上を図る技術協力を検討中。
- ④ スーダンの所得水準は相対的に高いことから、「所得水準が相対的に高い国に対する無償資金協力の効果的な活用について」に基づき、供与適否について精査が必要である。スーダンでは、長年続いた内戦の影響から基礎的な生活インフラが欠如しており、廃棄物の不法投棄や不適切な焼却が健康被害の懸念を招いている。人間の安全保障の観点から、本計画を通じて、感染症など個人の尊厳、生命、生活に対する脅威への対応が必要となっている（「人道上のニーズ」）。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ベトナム社会主義共和国向け無償資金協力「ハノイ市廃棄物管理機材整備計画」（2002年～2003年）の事後評価等では、当該協力の後に実施した技術協力で行った住民啓発や広報活動との相乗効果で、ハノイ市の廃棄物管理がベトナム国内の先進事例として認識されたことが指摘されている。本計画においても並行して技術協力の実施を検討し、廃棄物管理計画の策定、効率的な収集を実現するパイロット事業の実施、組織・財政面の改善支援により、整備機材の適切な利用と維持管理体制を強化する。

以上

〔別添資料〕地図

スーダンのきれいな街のための廃棄物管理機材改善計画 地図

